

# 平成29年度 事業計画書

## 1 事業の実施にあたって

当財団は、平成5年11月にオープンした富士市文化会館ロゼシアターの管理運営をはじめ、これまでに会館を活動拠点とした900を超える自主事業の実施や、市民の文化活動のサポートなどを行い、静岡県東部地域の文化芸術活動に貢献してきました。

この間、会館施設の維持管理については、平成17年度に市が策定した「富士市文化会館舞台設備等改修計画」に基づき、平成21年度から各ホールの改修を順次実施し、平成26年度には舞台設備等の改修が終了しました。

しかし、建設から四半世紀近くが過ぎた会館設備は、空調設備や給排水衛生設備などの設備機器をはじめ、防水や外装、内装などの建築物の老朽化が進み、さらには、東日本大震災に端を発した建築基準法の改正により、各ホールなどの天井の耐震化が大きな課題となっております。

このため、会館施設の安全・安心を確保するための中長期的な対応が求められていることから、富士市は平成29年度に公共施設マネジメントを踏まえた「長期修繕計画」作成のための調査を行うこととなりました。当財団は、こうした富士市の調査などに協力してまいります。

会館運営については、昨年館内に新設された「ふじ・紙のアートミュージアム」との連携や、お客様へのサービスの向上、施設利用にあたっての改善、利用者数の増加等に努めてまいります。

保守管理については、お客様からのご要望が多い、洋式トイレの温水洗浄便座化の工事や、新たに和式のトイレを洋式に改修する工事が予定されています。

これら市の工事に対して、最大限の協力体制を採り、お客様の安全を確保するとともに、ご利用環境に配慮した保守管理を実行いたします。

自主事業については、富士市の文化政策の方針である「富士市文化振興計画」を念頭に、国の「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）」に示されている文化プログラムの全国的な展開などを注視し、市民のニーズに応える多種多様な事業を実施し、特に次代を担う若年層を対象とする事業の充実を図ります。

また、会館に足を運ぶことが困難な方々に、気軽に文化芸術を楽しんでいただくためのアウトリーチ事業に取り組んでまいります。

当財団は、富士市民を中心とする地域住民の皆様が、生活に潤いと活力をもたらす文化芸術の恩恵を享受するための一助となるよう、良好な環境を提供してまいります。

## 2 管理運営事業

富士市から受託している会館施設の維持管理及び運営については、平成5年の開館から24年目を迎え老朽化が進むなか、お客様の安全・安心を最優先に、ご利用に支障のないよう会館施設や機能の維持・保全に努め、快適な施設環境を提供してまいります。

貸館業務については、お客様が借りやすく、使いやすい会館を目指し、快適にご利用いただけるよう、お客様第一を念頭にサービスの向上に努めてまいります。

安全対策については、不特定多数のお客様が同時にご利用される集客施設であることから、より実践的な避難訓練を実施して、課題の把握や検証、情報収集を行い、危機感を持って安全対策のさらなる充実を図ります。

施設設備の保守管理については、平成29年度に市が実施する「長期修繕計画」作成のための調査に協力していくとともに、予定されているトイレの改修工事が円滑に施工できるよう、お客様の安全確保と快適なご利用を最優先に、スケジュールの調整などを市と十分に協議してまいります。

なお、平成29年度の財団が主体の周期委託業務は、熱源機器整備など10件を予定しており、適正・安全・着実な会館運営に努めてまいります。

◇ 通常委託業務以外に必要とされる主な周期委託業務(平成29年度計画分)

- ・熱源機器設備・・・・・・・・・・熱源機器整備
- ・舞台音響設備・・・・・・・・・・インカム機器整備
- ・舞台照明設備・・・・・・・・・・中ホール天反ライト器具更新
- ・舞台機構設備・・・・・・・・・・USB バッテリー交換・FA2100A 予備機  
総合コントローラーバッテリー交換
- ・自動制御設備・・・・・・・・・・空調用リモコン整備
- ・自家発電設備・・・・・・・・・・受変電設備・遮断器・継電器更新整備
- ・誘導灯設備・・・・・・・・・・誘導灯等表示設備整備
- ・消火設備・・・・・・・・・・スプリンクラー設備整備
- ・防火・防煙・排煙制御整備・・制御機器中継器整備
- ・建築物・・・・・・・・・・館内壁面整備

### 3 自主事業

#### (1) 自主事業計画方針

近年、急速な少子高齢化や高度な情報化の進展に伴う社会情勢の変化により、市民のライフスタイルも、物から心の豊かさを求めるようになり、地域社会にも文化の果たす役割が、大変重要であるといえます。

富士市では、平成25年度に策定された「富士市文化振興基本計画」において、“こころ豊かな人を育てる文化のまち”を目指し、将来に向け地域の文化振興を推進することを目標としています。この目標の実現にあたっては、“機会の充実、発表の場の提供”、“文化を担う人材の育成・支援”等をはじめとする8つの施策の方向性が示され、富士市の文化を多角的に、体系的に捉え推進していくとしています。

また国においては、平成27年に「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)」が閣議決定され、平成32年度までに取り組む施策の方針が示されました。この要旨として、あらゆる人々が創作活動への参加、鑑賞体験ができる機会の充実や、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とする文化プログラムの全国展開を目指すとし、これらを推進するための重点戦略として、“子どもや若者を対象とした文化芸術施策の充実”や、“文化芸術の次世代への確実な継承、地域振興等への活用”等が掲げられています。

平成29年度の財団の自主事業は、これら富士市の文化行政の示す方向性を念頭に置き、全国的な動向を見据え、地域に根差した文化の創造、鑑賞機会の提供に努めます。

当財団は、これまで幅広い世代に向けて、多種多様なプログラムを企画提案してきましたが、引き続き市民のニーズに応えた事業を展開してまいります。近年では、若年層に向けた事業に、特に力を注いでおり、幼児、未就学児や親子を対象とした「こどもコンサート」や「スタンプラリー」、教育委員会と連携した「小・中学生招待コンサート」や「小学校学校コンサート」、文化芸術分野を志す若者を支援する「新人音楽家による演奏会」「新進アーティスト作品展」「インターンシップ」等、年代やニーズに合わせた事業を多数実施しています。これらの取り組みは、前述の富士市や国が示す方針にも対応するものであり、今後一層の拡充を図ります。

また日頃、会館に足を運ぶことができない方が気軽に文化芸術に親しめるよう、アウトリーチ事業にも積極的に取り組みます。これは、病院や福祉施設、学校等に赴き、音楽やダンス、ミュージカル等を紹介するものです。

このほか文化情報誌ロゼやロゼナビの発刊を通じ、自主事業公演の広報や、地域の文化情報の発信に取り組みます。

平成29年度も市民が、生涯を通じて、文化芸術に触れ、楽しめるような環境づくりに努めてまいります。

## (2) 自主事業の概要

当財団の自主事業は、事業の目的ごとに「普及事業」「育成事業」「創作事業」「交流事業」「鑑賞事業」「広報事業」の6つに分かれています。平成29年度も各事業に応じたプログラムを、計画的に実施していきます。

普及事業では、クラシック音楽の普及を目的としたふじ少年少女芸術劇場「小・中学生招待コンサート」や歌舞伎初心者等を主対象とした「歌舞伎プレセミナー」等を行います。また、10月に行われる「小学校学校コンサート」では、アフリカン・オールスターズとともに、大淵第一小や吉永第二小、天間小など、市内北西部の小学校を回り、アフリカの音楽やダンスを紹介します。

育成事業では、未就学児でも入場可能な「ロゼこどもコンサート」、地元出身の演奏家による「新人音楽家による演奏会」などに加え、新たに、地域で吹奏楽に親しむ中高生を対象に「シエナ・ウィンド・オーケストラによる吹奏楽ワークショップ」を開催します。同楽団とは、今後様々な形で連携し事業展開していくことを計画しています。

創作事業は、市民ミュージカル「THE MUSICAL TIME 2017」を実施します。これは、これまでアウトリーチ事業として上演してきた「おでかけミュージカル」の演目“BIRTHDAY”をホールバージョンにリメイクしたものです。

交流事業では、「スタンプラリー」、「トレインフェスタ」のほか、アウトリーチ事業「おでかけミュージカル」「おでかけクラシック」を実施します。

鑑賞事業は、幅広い世代が、様々な文化芸術をお楽しみいただけるよう音楽から演劇、古典芸能等、多彩なジャンルの公演を行います。毎年恒例の「松竹大歌舞伎」は、中村橋之助改め中村芝翫襲名披露公演を行います。また「林家たい平の家族で楽しむ落語会2」は、好評につき継続開催となりました。このほか、大ホールで行う公演として、オーケストラとサーカスを融合させた「シルク・ドゥラ・シンフォニー」、注目の若手俳優、栗山千明、溝端淳平が出演する演劇「ミッドナイト・イン・パリ」ほか、「劇団四季ミュージカル」や「ロゼ・フォークプラザ」を行います。音楽公演では、情報誌ロゼの人気企画をコンサートにした「ロゼ・クラシックカフェコンサート」や今年演奏活動55周年を迎える「前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル」を開催します。

協力事業では、恒例となったロゼ・ピアノコンクールに加え、8月には、同コンクール20周年を記念するコンサートを開催し、クラシックの若手演奏家の人材育成を支援します。

このほか、広報事業として、6月発行の夏号をもって通算100号となる情報誌ロゼ、静岡県東部地域に自主事業情報を周知させるロゼナビを発行していきます。

平成29年度も、幅広く市民のニーズに応えられるよう、多種多彩な自主事業を提案していきます。